

(5面からのつぎ)

署名と自治体意見書を国へ

与野党逆転生かし総枠拡大

山上 今回の参議院選挙の結果は、自民党の歴史的な大敗となったわけですが、秋にはたゞさんの署名に取り組みますが、「医療構造改革をストップさせる」あるいは「反撃に打って出る」時がきました。それをどう推し進めるのかについて話題を移します。

小澤 保団連は来年の診療報酬の改善や窓口負担の軽減をめざして、国会請願署名に取り組んでいます。患者さんからもご賛同いただく署名です。また、同じ内容を自治体から国に意見書として上げてもらうよう、府下の全地方議会に陳情しています。吹田市では8月13日に全国に先駆けて意見書が採択されました(図1)。

1. 地元の議会に十分な力のある先生方に御協力をお願いしたいです。

この署名をもって国会や厚労相に要請します。11月17日には大阪御堂会館(南御堂)で開催される集会に参加していただければと思います。

山上 今春から取り組んでいる、レセプトオンライン請求の義務化に反対する院長要請署名は、あと数百通で過半数になりますね。

小澤 レセプトのオンライン化と公的医療費の抑制、診療報酬の包括化、医療の市場化はまさに「三位一体」です。その一番キーポイントになるのが、レセプトのオンライン化です。ここをしっかりと廃止に追い込むことが、まさに公的な歯科医療を守る非常に大事な道です。それと、9月から「歯科医療崩壊を阻止する院長要請署名」を08年度の予算編成に向けて取り組みます。ご協力をお願いします。

山上 政策部から大枠の課題とそれを打開するための行動提起がありました。署名運動と自治体意見書採択です。来年度の予算編成と点数改定に向けて、会員の先生方に向けて呼びかけと同時に積極的に署名活動を展開し、各種の集会等に参加してもらいような雰囲気づくりが大切です。

藤井 署名を厚労省のどこへもっていったのか、国会の誰に持って行ったのか、そして、どのような効果を目的にするのか署名する側からすれば気になります。今まで、署名はどのように生かされてきたのでしょうか。

小澤 記憶に新しいのは、06年改定の改善の取り組みです。改定当初

は、何をどう思ったか、未装着は所定点数の7割、再装着や再製も事前承認などこんでもない内容でした。保団連に会員の先生方からおかしいと問い合わせがあり、保団連は厚労省に申し入れし、まず撤回させた。その後、署名活動に取り組み、協会では60%以上の先生が署名してくださいました。吉田先生はじめ代表の方々を通じて「これ、なんやねん」ということで、国会議員や厚労省に働きかける中で、厚労省は摘要欄記載を減らしたり、略称も認めるなど、訂正通知が次々出てきました(表4)。

リハ打切りの改善 署名活動が原動力

吉田 民意を反映させるには、結局署名しかありません。署名を通じて、議員や関係省庁に会員の声が直接上がることは大変有効です。交渉のときでも、賛同者が多いと、「これだけの開業医の先生方が言っているんだ」と前に突き出すと迫力が出来ます。

小澤 リハビリの180日打ち切りを改善させた取り組みは、短期間に48万もの署名を患者会などが中心になって組織したことが原動力でした。歯科でもかなり以前の話にはなりますが、「保険でよい入れ歯運動」で署名と自治体の意見書採択決議で大幅に点数を上げた経験があります。保険点数がそれで引き上がったんです。これはすごく大事なことだと思います。

吉田 参院選前の6月14日、保団連が国会要請行動に取り組み、先生方から衆院会館内で議員集会も開きました。自民、民主、共産、社民各党から、現場の反対運動を積極的にとりあげていくという答弁がありました。診療報酬改定幅の決定は中医協から内閣と国会に移っています。やはり政治家、国会議員への要請運動というのは絶対に必要なものです。ですからこういった運動をこれからやっていく必要性があると思います。

小澤 180日超のリハビリ給付打ち切りを改善させた取り組みは、世論と運動が国政を動かすことを示しました。世論は票と直結しますから、議員はこれが一番怖い。逆に、世論が熟していないのにロビー活動で業界の要望を押し通そうとすれば、見返りを要求され1億円のプレセントを渡す羽目になる。結局、明るみに出て、ますます業界の評判を貶めるといって最悪の状況になりました。与党のパイプを通じてお金で動かすようなやり方はもう成り立たない。今、参院は与野党逆転下にあります。

今年5月の大阪府歯科協会の通常評議員会で「この苦境は一人で悩んでも、他力本願なども打鍵できない。協会や保団連と力を合わせ正要求の行動を起こすことだ」との発言がありました。やはり歯科医療を担う先生方一人ひとりが、公的な歯科医療を守っていくために行動を起こすときだと思えます。

吉田 厚労省や都道府

(図1)

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔の機能が全身の健康、介護・療養上の改善に大きな役割を果たすことが厚生労働省の厚生労働科学研究等で実証されている。その結果として医療費を抑制する効果があることが兵庫歯科医師会等で実証されている。

しかしながら、公的医療費の抑制により患者の自己負担が増大し保険で歯科診療を受けにくくなっている。国民は患者負担を減らしてほしいと切望している。

また、実質的に医療内容を左右する診療報酬は過去3回続けて引き下げられ、保険でよりよく噛める入れ歯を作ることや、歯周病の治療・管理をきちんとすることが難しくなっている。その上歯科では長年にわたり新しい治療法がほとんど保険に取り入れられていない。金属床の入れ歯、セラミックを用いたメタルボンド、レーザー治療などは普通に行われている。「保険の利く範囲を広げてほしい」、これは患者・国民の願いである。

よって、本市議会は政府に対し、医療費の総枠を拡大し、患者負担を増加させることなく、保険でよい歯科医療を確保するため、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること。
- 2 安全で普及している歯科技術に保険が利くようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年8月13日

吹 田 市 議 会

(表4)

要請行動・通知発出	主な要請・改善内容
3月28日 疑義解釈	か初診や歯周疾患継続総合指導料廃止、補診算定要件変更にもなう移行処置などについて通知。
3月30日 記載要領訂正・保医発第0330006号 (実際の発出は4月6日頃)	未装着請求の70/100、未装着請求後の装着や再作製における社会保険事務局長への事前承認の仕組みを通知から削除。
4月24日 疑義解釈	患者交付文書と同じ内容をカルテに記載させる算定要件を簡素化し、交付文書の写しをカルテに添付することで可となった。歯科疾患継続指導料算定中に外傷や義歯破損で来院した場合の特掲診療料が算定可となった。
4月28日 疑義解釈	4月24日付疑義解釈の訂正など。
5月8日 留意事項および記載要領等訂正・保医発第0508001号	当初通知(保医発0306001)に多数含まれていたカルテやレセプト摘要欄への二重記載を簡素化する訂正通知(保医発0508001)を発出。
7月31日 疑義解釈、略称通知・保医発第0731003号	カルテ・レセプトで使用できる傷病名などの略称を新設・一部訂正24項目追加。傷病名欄から判別できる場合は、レセプト摘要欄への部位記載が省略可に。

医療にまわすお金を増やし、保険でよい歯科医療の実現を求める請願署名

私達は「保険で良い歯科医療の充実を願っています」

【署名目的】

歯は、人の健康や生活の基盤を成す重要な役割を果たしています。歯を失った人は、咀嚼や発音、審美などに支障をきたし、生活の質が低下します。また、歯の健康は全身の健康とも深く関係しています。歯を失った人は、生活の質が低下し、医療費が増加する可能性があります。

【署名対象】

1. 歯を失ったことにより生活に支障をきたしている方。
2. 歯を失ったことにより医療費が増加している方。
3. 歯を失ったことにより生活の質が低下している方。
4. 新しい歯科治療技術を進んで普及してほしい方。

医療にまわすお金を増やし、保険でよい歯科医療の実現を求める請願署名

【署名目的】

歯は、人の健康や生活の基盤を成す重要な役割を果たしています。歯を失った人は、咀嚼や発音、審美などに支障をきたし、生活の質が低下します。また、歯の健康は全身の健康とも深く関係しています。歯を失った人は、生活の質が低下し、医療費が増加する可能性があります。

【署名対象】

1. 歯を失ったことにより生活に支障をきたしている方。
2. 歯を失ったことにより医療費が増加している方。
3. 歯を失ったことにより生活の質が低下している方。
4. 新しい歯科治療技術を進んで普及してほしい方。

提出先：衆議院議長・参議院議長

子ども医療署名

子ども医療署名

【署名目的】

子どもは、国の未来を担う大切な存在です。子どもは、成長の過程で様々な医療的ニーズを抱えます。子ども医療は、子どもたちの健康と生活の質を向上させるために不可欠なものです。

【署名対象】

1. 子ども医療の充実を希望している方。
2. 子ども医療の充実を希望している方。
3. 子ども医療の充実を希望している方。

子どもたちの幸せは、すべての府民の願いです。『子ども医療署名』にご協力下さい。

【署名目的】

子どもは、国の未来を担う大切な存在です。子どもは、成長の過程で様々な医療的ニーズを抱えます。子ども医療は、子どもたちの健康と生活の質を向上させるために不可欠なものです。

【署名対象】

1. 子ども医療の充実を希望している方。
2. 子ども医療の充実を希望している方。
3. 子ども医療の充実を希望している方。

提出先：大阪府知事

来年度予算編成にあたり社会保障費削減を撤回し診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書

来年度予算編成にあたり社会保障費削減を撤回し診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書

【署名目的】

社会保障費削減は、国民の生活に大きな影響を及ぼします。社会保障費削減を撤回し、診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書を送ります。

【署名対象】

1. 社会保障費削減を撤回してほしい方。
2. 診療報酬引き上げや患者負担軽減を希望する方。

提出先：厚生労働大臣・国会議員要請用

(表5) 07年参院選・政党アンケート(保団連：抜粋)

アンケート項目	自民	公明	民主	共産	社民
●保険で良質、安全な医療を保障するため、診療報酬を引き上げる	他	他	賛成	賛成	賛成
●健保の入院を2割負担に戻す	他	他	他	賛成	賛成
●国保を2割負担に引き下げる	他	他	他	賛成	賛成
●70歳以上は1割負担に	他	他	賛成	賛成	賛成
●就学前まで医療費は無料に	他	賛成	賛成	賛成	賛成

※国民新党は回答なし

保団連の6・14集会の運動を通じて、自民党の中からも「歯科の診療報酬はひどすぎる」という意見を表明する議員が出てきました。与党にも今後、働きかけるチャンスだと思えます。

小澤 大事なことは、私たちが院長署名や国民署名を通じて、参院の与野党逆転の事態に対応した、時宜に合った働きかけを大いに展開することだと思えます。

山上 予定の時間となりました。ありがとうございます。